

## 第113番組審議委員会議事録

日時：令和6年11月20日（水）13時30分～

場所：市民活動センター/コミュニティ f（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数8名

2. 出席人数4名

3. 出席委員の氏名

長橋順 副委員長・稲葉美津恵 委員・青木洋一 委員・内藤佑樹 委員

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長

山本茂 放送局長

山本局長：本日はお集りいただき、ありがとうございます。今日は113回目の番組審議となります。皆様よろしくお願ひ致します。それでは番組審議副委員長の長橋順副委員長一言よろしくお願ひ致します。

長橋副委員長：本日はよろしくお願ひ致します。この数日でどんどん寒くなってきましたが、皆さんお身体には十分気を付けましょう。

山本局長：ありがとうございます。続いて弊社小沢からお願ひ致します。

小沢社長：今日はお越しいたきましてありがとうございます。本日は委員長の吉野涉さんがお休みの為、副委員長の長橋副委員長に議事進行をお願ひ致します。今日も忌憚のないご意見をよろしくお願ひ致します。

山本局長：それではまずは、前回審議をお願ひした「福永むねとの「むねのうち！」」のご報告です。

ご審議いただいた内容について、福永さんの経歴を踏まえたニュースの切り取りと現状、ちょっとした裏話など良い面もいただきました。また、番組名でもある「むねのうち！」について、もっと福永さんらしい胸の内の話があった方が良いというご意見もいただきました。私共番組制作者にも情報を共有し、よりよい番組づくりをしていけたらと考えております。議事内容については弊社HPに掲載させていただいております。

それでは、今回の番組審議委員会でご審議いただく番組を紹介させていただきます。

今回は本日まで放送しておりました「SDGsのはじまり富士市2024」です。昨年度から富士市の委託事業として行っており、今年度は昨年よりも多くの企業様、学生が参加しました。昨年は主に番組インタビュー・富士市SDGsサイトに記事を掲載するのが学生の仕事でしたが、今回は番組インタビュー、記事掲載に加え、SNSの発信、企業と学生の交流、取材発表などを行いました。今回は9月から11月までラジオエフで放送した中から11月11日に放送をした番組になります。それではお聴きください。

### 番組審議

- ・ 審議番組 SDGsのはじまり富士市2024  
毎週月から水曜 9：05～9：15  
(10分程度)

- ・放送日時 令和6年11月11日 水曜日 9:05～
- ・出演 ナビゲーター：学生 宮田帆乃華  
出演：田子の浦漁業協同組合 古江 奈津子
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

## 検聴10分程

山本局長：以上でございます。それでは長橋副委員長ご審議よろしくお願ひ致します。

長橋副委員長：はい、それでは始めさせていただきます。まずは私から。学生が企業にインタビューに行き番組ナビゲーターを務めるのは良い事だと思ひました。放送では富士市にゆかりのある学生と言ひていましたが、どうやって集めたのですか？

山本局長：弊社の番組で富士市富士宮市出身の大学生などが出演している番組があります。そのプラットフォームを活用したり近隣の大学にチラシを掲載させていただくなど、富士市出身のほか、富士市内でフィールドワークをしている学生などに募集をかけました。また、高校生が主役の番組も弊社で放送していますが、その卒業生にも募集をかけるなどもいたしました。

長橋副委員長：なるほど、この地域にゆかりのある若者が出演している番組があるというのは良い事ですね。また県外に行ってしまった学生が地域社会と関われるのは良い事だと思ひます。

小沢社長：就職や進学で地域を出てしまった子供たちは、なかなか地元で就職してくれないケースも増えております。そういった学生と企業の橋渡しがこの番組を通して出来たら・・・という制作者の意図もござひます。

長橋副委員長：わかりました。こういった活動はこの地域にとって大切な事ですから是非続けていってもらえたらと思ひます。稲葉さんいかがですか？

稲葉委員：私も良いと思ひました。ただもう少し学生らしさが出てると良いと思ひました。冷凍庫の話はとても好感良く相手の意見に同調できていて良かったです。ですが、話がうますぎるといふか・・・あどけなさがあると、より学生らしさがでたかもしれませんね。

山本局長：今回お聴きいただいたのは高校生の時からラジオエフに出演し、大学生の番組にも出演経験があるので話し方や聴き方はとても上手な方だと思ひます。今回初めてインタビューをした学生が大半ですので、聴いていて学生らしいあどけなさがでていたと思ひます。

稲葉委員：学生は何人くらい参加したのですか？

山本局長：おおよそ30人だと聞いております。企業も30社程度ですので、1人に対して1社担当する形です。

稲葉委員：初めてインタビューする学生は1回だけなので、プレッシャーがかかったでしょうね。

山本局長：事前に学生を集めて、取材相手から話を聞きだす方法やインタビューの練習、インタビュー当日の流れなどの講習会を開きました。しかしプレッシャーはあったかと思います。インタビューの練習は実践的に録音して行い、音源については放送出来る素材でしたので、毎月第二土曜日に放送している学生出演の番組で放送させていただきました。

内藤委員：学生がSDG sに関わっている番組は、「SDG s へのはじまり富士市」のみですか？

小沢社長：はい。今年度のSDG sの番組はこれだけになっております。ただ、今回放送した内容については富士市のサイトでいつでも聴く事ができますし、記事としても掲載されておりいつでも見る事が出来ます。

内藤委員：放送のみではなく、形に残るのは良いですね。非常に意味がある番組だと思います。ただ、音声のみを聴くと「共想・共創」の部分がわかりづらいと感じました。文字だと意味がわかるのですが、音声で「きょうそう・きょうそう」だけになると、説明も必要かなと感じました。

山本局長：確かにそうですね。意味のある言葉ですから説明、もしくは意図が分かる補足があると良かったかもしれません。

長橋副委員長：青木さんはいかがですか？

青木委員：今回のインタビューをした学生は、これまで番組の出演経験が多いという事もありとても聞きやすい声でインタビュー内容もとても良かった。こういった学生が増えてくるとナビゲーターになりたいと考える人も増えてくるとは思いますが、現在そういった人が参加したりしているんですか？

山本局長：参加者の中に声の専門学校、声優やナレーション、芝居などをする学校に行っている学生が数名いました。現場にでた事はなかったようで緊張していたようですが、聴きやすい声、話を聞きだす事は授業でもやっていたそうです。声の専門学校生だけでなく、学生のうちに大人や企業の社長さんや部長さんなど離れた歳の人たちと対等に話を聞くのはとても良い経験だったと感じています。

青木委員：来年もこういった番組もしくは取り組みが出来ると良いですね。

先ほど30人程の学生がインタビューしたと言っていました。収録はどうしたんですか？県外在住の学生が多くいたと思いますが。

山本局長：基本的に学生の夏休みで帰省しているタイミングでスケジュールをとりました。7月～9月の間に研修・取材・記事作成等を行いました。

小沢社長：来年も出来る様がんばります。

長橋副委員長：そうですね。来年以降も継続できると地域にとっても良い取り組みになると思います。

山本局長：引き続き継続出来る様にごんばります。

小沢社長：本日は以上でよろしいでしょうか？ありがとうございました。

次回は令和7年1月15日水曜日開催です。よろしくお願ひ致します。

議事録の公表：令和6年12月1日 自社ホームページにて公表